

日本医療経営実践協会 関東支部 開催のお知らせ

2025年5月・6月 多摩研究会

これからの医療経営士はどうなる？

病院事務職の未来予想図

日時 2025年5月23^金日・6月27^金日 両日19:00～20:30

※どちらも研究会終了後、懇親会開催を予定（任意参加）

プログラム

■ 5月23日(金) ※会場 & オンライン開催

病院事務職を科学する

—VUCAとその先の病院事務職を考えるために

神戸翼 氏(医療法人社団永生会永生総合研究所所長)

お申込みはコチラ



■ 6月27日(金) ※会場のみ

現役事務長が語る、

“本当は語りたくない” 医療機関事務職のリアルな現実

中野雄介 氏(医療法人社団永生会永生病院・みなみ野病院統括事務部長)

小暮桂葉 氏(医療法人社団三秀会羽村三慶病院事務長)

お申込みはコチラ



日本医療経営実践協会関東支部多摩研究会は、「多摩地域における『医療経営』の研究及び分析を基盤に、経営部門の実務のあり方を確立し、医療及び経営の質の持続的な改善活動を通じて、医療界における連携及び経営の質向上に貢献する」ことを目的として活動しています。

今回、多摩研究会では医療機関の事務職員の未来を2回に分けて考えます。1回目は永生総合研究所所長の神戸翼氏を講師に迎え、「**病院事務職を科学する—VUCAとその先の病院事務職を考えるために**」と題し、必要とされる事務職員像、求められるマネジメント機能についてお話しいたします。これからの時代に必要とされる事務職員の未来像とはどのようなものなのか、豊富なデータを踏まえながら、病院事務職員が持つべき新たな視点を提示していただきます。

2回目は現在それぞれの医療機関で事務長を務める小暮桂葉氏と中野雄介氏が、自身のこれまでの経歴と次代の事務長の在り方について講演。**事務職員から事務長までのキャリアパス、これからの時代に求められる新たな事務職員・事務長像をナラティブに**語っていただきます。**聞かも涙、語るも涙の苦労話からここでしか聞けない貴重なウラ話まで**、事務職の皆さま必聴の内容となっております。

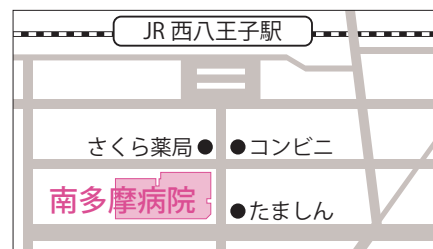
研究会の後には懇親会の開催も予定しております。皆さん是非集まって熱く語り合しましょう！奮ってご参加下さい。

参加費 (税込) 各回 会員 1,000円(オンライン1,500円)／非会員 3,000円(オンライン3,500円)
※会員とは医療経営士資格保有者のこと。エリア、所属問わずどなたでも参加可能

形式 5月23日(金) 会場とWEBのハイブリッド
6月27日(金) 会場開催のみ

会場 医療法人社団永生会 南多摩病院 8階会議室
(東京都八王子市散田町3丁目10番1号)

定員 会場 30名(先着順)／WEB 50名(先着順)※5月23日のみ



お問い合わせ：日本医療経営実践協会関東支部多摩研究会運営事務局 E-mail：mmssoc.tama@gmail.com